

# 2015年度第2四半期業績のご報告

日本エマージェンシーアシスタンス株式会社

2015年8月12日

# I . EAJ事業内容のご説明

EAJは安心を提供する企業です

## 医療アシスタンスとは

海外旅行・出張時における医療事象(病人、ケガ人)発生の際、スムーズな治療が行われるよう手配する仕事です。

具体的な例：あなたが中国に出張中、上海で病気になったとしたらどうしますか？

もし日本人の知り合いや現地法人の同僚がいる場合、その人に聞けば日系の病院や日本語の話せるクリニックなどを紹介してくれるかもしれません。その方に懇意の先生がいたら予約もしてくれるかもしれません。親しい友人であれば、病院の場所を丁寧に教えてくれるかもしれませんし、必要ならば実際に付き添ってくれるかもしれません。

しかしそんなに運よく親しい友人がいるとは限りません。

例えば上海にはいたとしても、世界各地でそのような有難い友人がいる方は稀だと思います。

上海は日本人向けクリニック(医療機関により良い悪いの差はあったとしても)もありますが、今仕事の機会が急増している中国内陸部に入ると、病院では中国の人々と同様、朝5時から一日がかりで並んで、必ずしもレベルの高くない初診担当の医師に見てもらわなければなりません。それも中国語がわからなければ通常お手上げでしょう。

⇒上記の親しい友人の代わりに世界中で務めるのがEAJです。

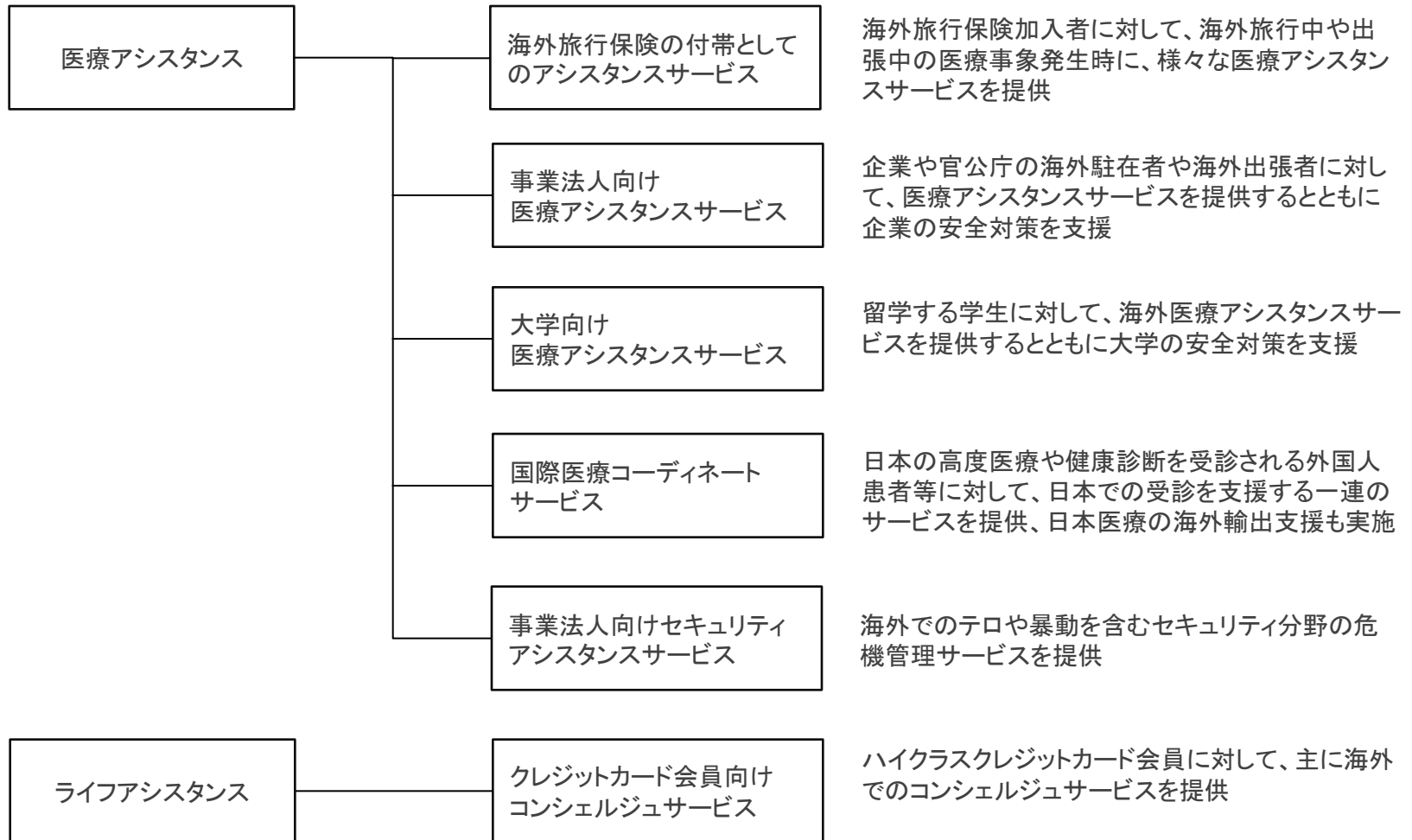
海外旅行保険のサービスであろうと、国や企業との個別契約や留学生へのサービスでも、範囲の差はありますが、「海外で受診する必要のある日本のお客様に、言語や制度、カルチャーギャップのある海外環境でも、安心して医療サービスを受けることができるように、EAJが間に入って、コーディネートする」仕事をEAJは**世界すべての地域**で行っています。

業務形態は**119番の指令センター**をイメージしてください。

# 当社事業

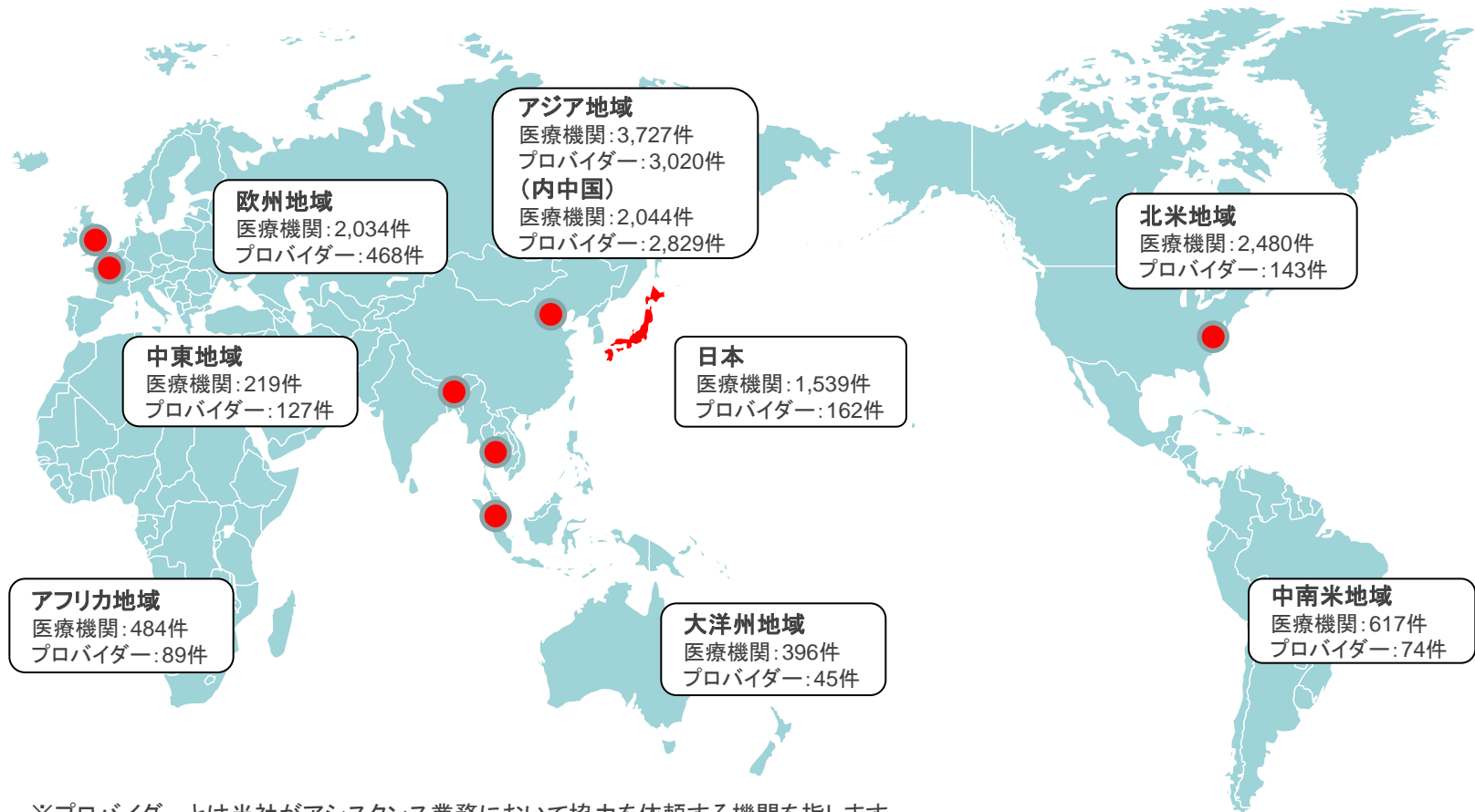
## 事業

## 展開する主なサービス概要



## EAJのネットワーク網

- 7ヶ国に海外センターを配置（● 米国、中国、タイ、シンガポール、英国、フランス、バングラデシュ）
- 拠点数は全世界で12カ所、グループ要員数は310名
- 世界各国で提携関係にある11,496件の医療機関と4,128件の海外プロバイダーを活用しサービスを提供



※プロバイダーとは当社がアシスタンス業務において協力を依頼する機関を指します。

# EAJ ビジネスの特徴

## 1) 少ない競合企業

海外で病気や怪我をした患者様からの電話の受付、医療機関紹介から搬送までワンストップで実施する会社は日本企業では当社だけです。また、上場しているアシスタンス会社は世界でも稀です。

## 2) 優秀で熟練したプロ人材

EAJの事業は、海外センターの設置や世界隅々の医療機関との提携が必要ですし、多数のコーディネーターを必要とします。コーディネーターは高度の語学力、機転、医療知識、コンシエルジュノウハウ、などの熟練性を要する業務です。

## 3) 参入障壁が高い

初期投資コストが大きく、クライアントには上場企業が多く、新規参入のハードルが高いビジネスです。高度な業務内容が要求され、世界中の医療機関とのネットワーク化が必須であるため参入障壁が高いビジネスです。

## 4) 社会貢献性が高い

アシスタンスは人を助ける仕事です。医療・セキュリティアシスタンスは困っている人を助けますし、ライフアシスタンスは海外に行くお客様により豊かなステージを提供します。社会貢献性の高さは業務を行う社員の誇りとなっています。

## 5) ジャパンスタンダードによるアシスタンス会社である

EAJは原則として①日本語を話す日本人コーディネーターが対応、②日本人顧問医師が判断、日本人医療チームによる搬送という差別化戦略(ジャパンスタンダード)を採っております。

## 6) グローバル化による環境変化に対応

日本人・日本企業の国際化、また、テロなどのセキュリティリスクの高まりに伴って、医療・セキュリティアシスタンスサービスへの需要は益々高まっております。

また、訪日外国人の増加、日本の高度医療の国際展開など医療ツーリズムへの需要も年々高まっており、そのような環境に対応する当社の活動の場は日々増加しております。

## Ⅱ. 2015年度第2四半期連結累計期間の決算報告



## 第2四半期の業績サマリー

- 売上高 1,346百万円(前年同期: 1,119百万円)  
営業利益 78百万円(前年同期: △16百万円)  
経常利益 77百万円(前年同期: △22百万円)
  
- 売上高は1,346百万円となり、前年同期比で20.2%の増収であった。
  - 医療アシスタンス事業の売上は前年同期比で24.2%増。
    - ✓ 4~6月の海外出国者数については前年を下回ったが、当社のアシスタンスサービスに関する売上高(ケース売上)は前年を上回った。
    - ✓ 法人・大学・セキュリティ売上が好調であった。
    - ✓ 外国人患者受入事業で今期は前年同月比で売上が増加した。
  - ライフアシスタンス事業の売上は前年同期比で2.5%増。
    - ✓ 売上は順調に増加している。
  
- 人材・ITへの投資費用が増加。円安による海外センター費用の増加もあり、費用総額は増加。  
しかしながら、「EAJリエンジニアリング」への取組により、人件費を中心に費用増を抑制できたため、営業利益は78百万円となった。

## 第2四半期および直近のトピックス

- 上期実績・通期業績予想を上方修正※

上期は、海外出国者数の減少で難しい環境の中、医療アシスタンス売上が比較的順調であったことに加え、毎年3月に年1回売上計上する国際医療事業における官公庁受注ビジネス売上が寄与し、売上、利益ともに前回発表の予想を上回った。

下期は、今のところ堅調に推移しているが、海外出国者数の減少と円安の継続等、厳しい経営環境が予想される。通期予想は、こうした厳しい経営環境を勘案して、売上高は前回発表どおり、利益は上期実績を若干上回る程度と見込んでいる。

※詳細につきましては、平成27年7月22日に別途公表している「業績予想に関するお知らせ」及び当資料P16「IV 上期実績及び通期業績予想修正について」をご参照ください。

- EAJリエンジニアリングの推進

円安等の厳しい環境の中でも利益を着実に出す組織改築の取組み「EAJリエンジニアリング」を全社を挙げて進めており、効率的な業務遂行を図るべくあらゆる部署で業務改善を実施し、費用の抑制に努めている。

## 第2四半期連結累計業績

(単位:百万円)

	前年同期 (売上高利益率)	第2Q (売上高利益率)
売上高	1,119	1,346
営業利益	△16 (△1.5%)	78 (5.9%)
経常利益	△22 (△2.0%)	77 (5.7%)
四半期純利益	△15 (△1.4%)	63 (4.7%)

### 売上高

-前年に比べ海外出国者数が減少しているものの、アシスタンスサービスに関する売上は前年比で増加し、法人・大学、インバウンド事業及びライフアシスタンス売上も順調であり前年比で増収となった。

### 費用

-サービス体制強化のための費用が増加  
 ・グローバル人材の採用と教育  
 ・医療機関ネットワークの拡充  
 ・基幹業務システムの改修への投資  
 -円安による海外センターのコストの増加  
 -リエンジニアリングによる人件費等の費用の抑制

## セグメント別業績ハイライト

- 医療アシスタンス事業は、海外出国者数が減少したものの、アシスタンスサービスに関する売上（ケース売上）は前年同月比で増加した。
- 外国人患者受入に係る売上（インバウンド売上）は堅調に推移し、前年同期比で102%であった。
- ライフアシスタンス事業は前年同期比で売上が増加した。

（単位：百万円）

	前年同期		第2Q	
	売上高	利益	売上高	利益
医療アシスタンス事業	916	86	1,137	195
ライフアシスタンス事業	203	58	208	54
調整額※	-	△161	-	△171
セグメント合計	1,119	△16	1,346	78

※ 調整額とは、各報告セグメントに配分していない全社費用のこと。

※ セグメント利益の合計額は四半期連結損益計算書の営業利益と一致している。

## 第2四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2014末 (構成比)	第2Q末 (構成比)
資産合計	1,995 (100%)	2,055 (100%)
流動資産	1,690 (84%)	1,757 (85%)
固定資産	305 (15%)	298 (14%)
負債合計	1,401 (70%)	1,402 (69%)
流動負債	1,211 (60%)	1,251 (60%)
固定負債	189 (9%)	151 (7%)
参考:借入金残高	941 (47%)	802 (39%)
純資産合計	594 (29%)	652 (31%)

### 資産

- 営業CFの増加に伴い現預金が増加
- ビジネス規模の拡大に伴い売掛金および立替金が増加

### 負債

- 金融機関からの借入金は減少
- 損害保険会社等に関する前受金が増加

### 純資産

- 当期純利益が増加
- 配当金の支払いによる資本剰余金が減少

## Ⅲ. 各種施策の取組み状況のご説明

## 2015年全社重点事業目標の進捗状況

### 全社重点事業目標

### 進捗状況

EAJリエンジニアリング  
ー構造改革で利益を上げるー

全社的なリエンジニアリングの取組みにより、全業務について少数精鋭での処理体制作りに取り組み第2Qの黒字化に貢献した。

全業務にわたる業務品質の向上と組織間の協力体制の強化

高機能電話システム導入により全世界センターを1つのヴァーチャルな拠点として捉えることができ、サービス品質向上、効率化を進めている。

情報基盤の早期完成と習熟度のアップ

「基幹業務システムの改善・再構築」を第2フェーズまで完了。管理業務の合理化が進展。

法人契約及び大学契約の価値増大  
顧客群拡大への取り組み

法人及び大学向けアシスタンス商品に全世界対応のセキュリティサービスが加わった。トータルセキュリティ管理を積極的に販売中。


国際医療インバウンド患者数の大幅拡大

中国の当社WEBサイトをオープン。広告宣伝に力を入れ、中国からの患者数の増大を目指す。

# 各種施策に関する主要NEWS RELEASE

## 東京、大阪において「EAJ危機管理セミナー」の実施

## 「EAJ危機管理セミナー」の結果報告 東京会場 約100人参加 大阪会場 約40人参加


日本エマージェンシーアシスタンス㈱

---

～E A J 海外危機管理セミナー～

---

**謹啓**  
 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のお引立に預かり厚く御礼申し上げます。さて、このたび当社主催セミナーを下記より開催いたしますので、ご案内申し上げます。  
 今回は海外における社員に対する安全配慮義務の観点から「アジア各国における中国の動向と我が国の対応」と「国際医療搬送従事者からみた、海外での健康・危機管理について」の講演を予定しています。ご多忙中とは存じますが、万障お繰り合わせの上ご参加下さいますようお願い申し上げます。

謹白

1. 日 時：2015年7月3日（金） 14：00～ 17：00（開場：13：30～）

2. 会 場：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター 【9F】ホール9A  
 新宿区市谷八幡町8番地 TKP市ヶ谷ビル（JR/地下鉄 市ヶ谷駅）

3. <プログラム>  
 第一部 「アジア各国における中国の動向と我が国の対応」  
 公安調査庁調査第二部 公安調査管理官 梶浦 祐史 氏

第二部 「国際医療搬送従事者からみた、海外での健康・危機管理について」  
 東京高輪病院 心臓血管外科 管理部長 川合 明彦氏（EAJ顧問医）

その他 当社医療アシスタンスサービス/セキュリティアシスタンスサービスの紹介

4. 参加費： 無料（定員になり次第締め切らせていただきます。）

必要事項をご記入の上、[sales@emergency.co.jp](mailto:sales@emergency.co.jp) まで添付送信下さいませようお願い致します。

EAJ危機管理セミナー申込書（2名まで）	
会社名	
所在地	
連絡先TEL	
参加者名①	
メールアドレス	
参加者名②	
メールアドレス	

■ご記入いただいた情報につきましては、当該セミナーに関する連絡・記録のみに使用させていただきます。

### 第一部講演：『中国の対外及び内政動向と我が国の対応』



講演の様子（東京会場）

第一部講演では、『中国の対外及び内政動向と我が国の対応』という題目で講演いただきました。冒頭では海洋進出をめぐる中国の覇権政策、アジアインフラ投資銀行（AIIB）や中国の「一路一帯構想」、東南アジア・北東アジアとの緊張関係について詳しくご説明頂いた後、日本企業として中国に進出する場合のリスク等を詳しくご解説頂きました。

### 第二部講演：『国際患者搬送（邦人レスキュー）

#### —在外邦人の医療リスクマネジメント—



講演の様子（川合 明彦氏）

第二部の講演では、『国際患者搬送（邦人レスキュー）—在外邦人の医療リスクマネジメント—』の題目で講演頂きました。海外での危機・健康管理全般をお話頂いた後、講師の海外医療機関視察経験や知見を基とした、渡航前に必要な健康診断や、脳疾患や心疾患に対する備えの必要性などを丁寧に説明頂きました。また当時話題になっていた韓国における MERS についても現状や対応について詳しくご説明頂き、講演終了後の質疑応答では MERS を中心とした話題で非常に盛り上がりました。



## IV. 上期実績及び通期業績予想修正について

## 上期実績の当初予想との比較

上期実績は当初予想を大幅に上回る。

(単位:百万円)

	当初 上期予想	上期実績	上期実績/ 当初予想	前年 上期実績	上期実績/ 前年実績
売上高	1,280	1,346	105.2%	1,119	120.2%
営業利益	△50	78	—	△16	—
経常利益	△55	77	—	△22	—
四半期純利益	△60	63	—	△15	—

上期に関しましては、医療アシスタンス売上が順調であったことに加え、毎年3月に年1回売上計上する国際医療事業における官公庁受注ビジネス売上が寄与し、売上、利益ともに前回発表の予想を上回った。

## 通期業績予想修正を発表

7月22日に通期業績予想修正を発表。通期利益を上方修正した。

(単位:百万円)

	当初 通期予想	修正 通期予想	修正通期予想 /当初予想	前年 通期実績	修正通期予想 /前年実績
売上高	2,500	2,500	100%	2,199	113.6%
営業利益	30	90	300%	△24	—
経常利益	25	80	320%	△26	—
四半期純利益	10	65	650%	△35	—

下期は、円安および海外不安の継続で出国者数の大幅な減少を見込んでおり、売上の伸び悩みを予想している。

また、期初の想定以上の円安による海外センターコストの上昇、人件費の増加、IT投資の継続的实施で一層のコスト増が見込まれる。そのため、今のところ業績は堅調に推移しているが、通期予想は、売上高は前回発表どおり、利益については上期実績を若干上回る程度と見込んでいる。

## V. 海外危機管理について

## もしも海外滞在中にMERSが発症したら

- 韓国では5月にMERSの最初の感染者が確認されてから計186人が感染し、うち36名が死亡した。
- 海外旅行や海外出張中、あるいは海外留学中に滞在国でMERSが発生したらすぐに対応できるでしょうか。
- 感染の疑いがある場合、現地のどこの病院に診察に行けば良いのか？ 自分の判断で日本に帰国して良いのか？ 専門家のアドバイスがなければ迷うことでしょう。

### ➤MERSコロナウイルス

中東呼吸器症候群と呼ばれる新型コロナウイルス。肺炎を主症状としており、死亡率が40%前後と非常に高い。

### ➤MERSの治療

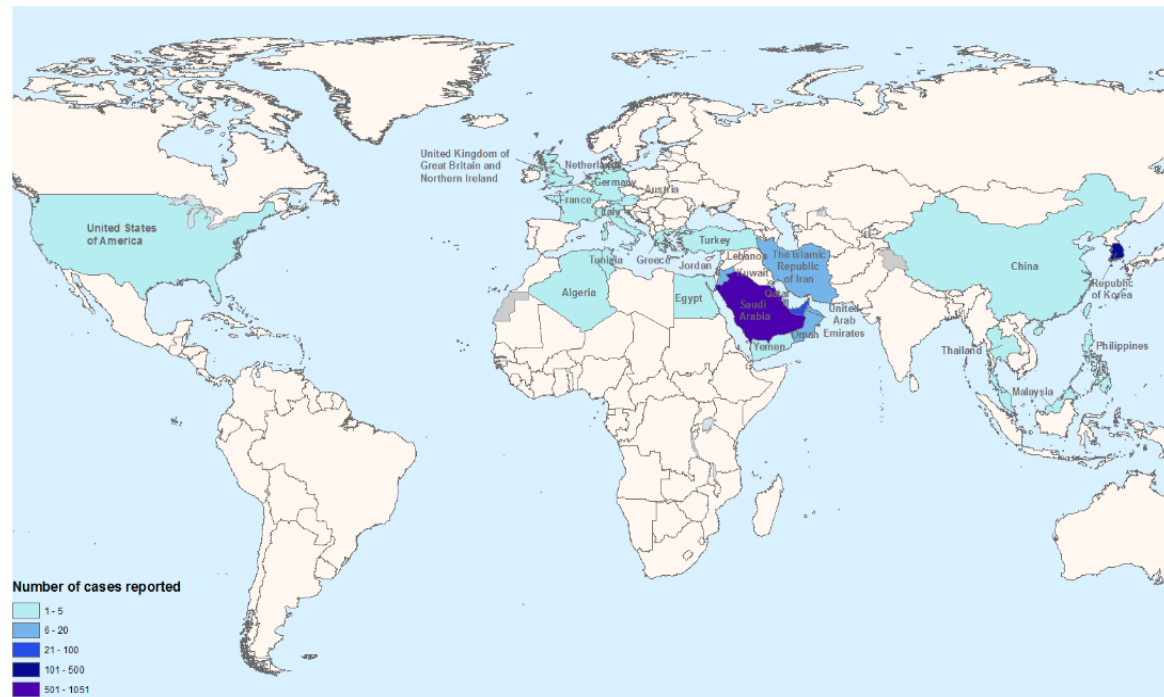
現在、ウイルスに対するワクチンはなく、対症療法に留まる。

### ➤MERSが発生している地域

主として中東地域で発生。欧州、米国、アフリカ、アジアの患者は中東地域で感染した人あるいは患者と接触した人である。

### ➤MERSの感染経路

人がどのように感染するか正確にはわかっていない。



2012～2015年 MERSコロナウイルスの感染が報告された国 出典:WHO

## EAJではMERSに対して以下の対応を実施

### ●MERS等の感染症は当社の医療アシスタンスの対象範囲である

当社の顧客（提携損保会社の保険加入者、法人会員の従業員、大学会員の学生）が海外でMERS等の感染症に感染した恐れがある場合に、当社は現地の感染症に対応できる医療機関を手配します。

### ●韓国で発生したMERSの場合

当社がアシスタンスを提供する場合は、コーディネーターが「MERSホットライン」と相談し情報収集しながら、顧客にとって最適な医療機関を紹介する。

※韓国で感染が疑われた場合には、指定医療機関、保健所、あるいは保健福祉省の「MERSホットライン」に連絡・相談することになっているため。

※法人契約を結んでいる企業に対してはMERSの最新情報・リスク回避のアドバイスを提供します。



### ●EAJのアシスタンスの優位点

➢海外の医療機関とのネットワークを生かした医療・治療に関する情報収集能力、集めた情報を海外センター含め全ての拠点で統一的に共有できるシステムがある。

➢顧客との通話は原則、日本語で実施され、きめ細かいお客様の立場にたった情報提供ができ、顧客に安心感と安全を提供する。

➢医療搬送チームの充実により、ケースによっては日本へ患者を搬送して日本の医療機関で治療する。搬送は経験豊富な顧問医の判断により実施される。

## 海外ではセキュリティリスクが増加している

●グローバル化の進展により、海外在勤者及び海外渡航者が現地で遭遇するセキュリティ・リスクの量は増大し、多様化・高度化・複合化している。

以下は2015年の上半期に起こったテロの例

▶フランスのパリで1月に風刺週刊誌を発行している「シャルリー・エブド」本社に覆面をした複数の武装した犯人が襲撃し、12人を殺害した事件が発生。

▶チュニジアで3月に首都チュニス市郊外にあるバルドー国立博物館において、武装集団によるテロ攻撃が発生。外国人20人を含む21人が死亡し、43人が負傷。日本人も3人の死亡、3人の負傷が確認されている。



海外に進出する企業・大学・個人に危機管理体制の構築が求められている。

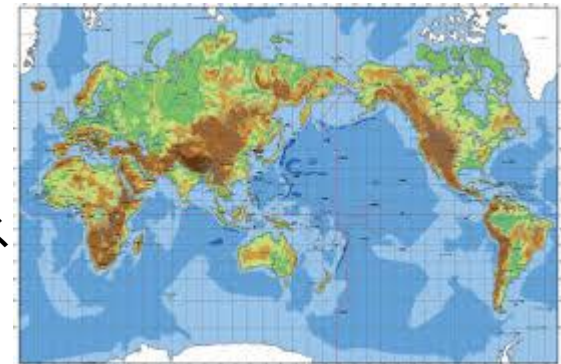
企業や大学は海外でのリスクを回避するために、また万一リスクに遭遇した場合に被害を最小限にするために、リスク管理の責任者を配置するなど組織・体制を整備・強化することが不可欠となっている。

## EAJでは海外リスクに対しセキュリティアシスタンスを提供

- ユナイテッド・ヘルスケア・グローバル社(UHCG)との提携によりセキュリティ・アシスタンスを全世界で提供します。

### セキュリティアシスタンスの例

- ▶ 24時間365日アクセスできる セキュリティ・ホット・ライン
- ▶ セキュリティ注意喚起及び警告
- ▶ セキュリティ・プロフェッショナルによる電話でのアドバイス
- ▶ 緊急脱出 等



### ※ ユナイテッド・ヘルスケア・グローバル社について

ユナイテッド・ヘルス・グループ(NYSE: UNH)の関連会社であり、医療及びセキュリティ・アシスタンスをはじめとする保健ソリューションを世界125か国でクロスボーダー展開している。

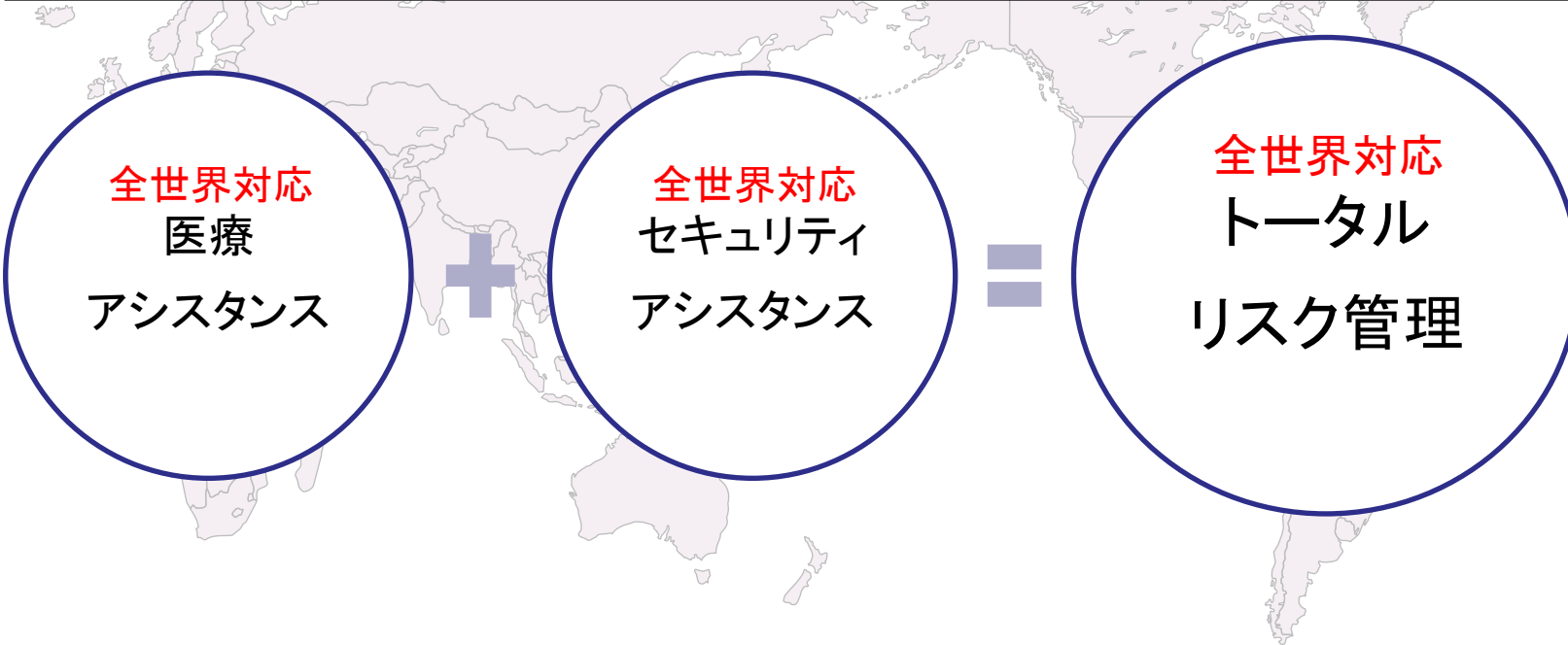
### ※ ユナイテッド・ヘルス・グループについて

- ▶ 1977年に米国・ミネソタ州・ミネアポリスにて設立
- ▶ 全米最大手の医療保険およびセキュリティ・コンサルティング会社
- ▶ ニューヨーク証券取引場に上場
- ▶ フォーチュン誌、全米ベスト企業100社の内61社、全世界ベスト企業500社の内約200社と取引実績
- ▶ 世界で最も賞賛される企業、革新部門において6年連続第一位にランク



## 全世界で「医療＋セキュリティ」アシスタンスを提供

- 医療アシスタンスに関しては従来から医療搬送等を含めて世界展開していた。
- セキュリティアシスタンスに関しては、ユナイテッド・ヘルスケア・グローバル社(UHCG)との提携により全世界でサービスの提供を4月から実施。
- 海外医療アシスタンスを通じて培われた当社の危機管理支援ノウハウとUHCGのセキュリティリスク管理能力を融合し、セキュリティリスク・ソリューションを提供する。
- 医療アシスタンスとセキュリティアシスタンスを組合せることでトータルリスク管理をEAJで「ワンストップ」で提供。



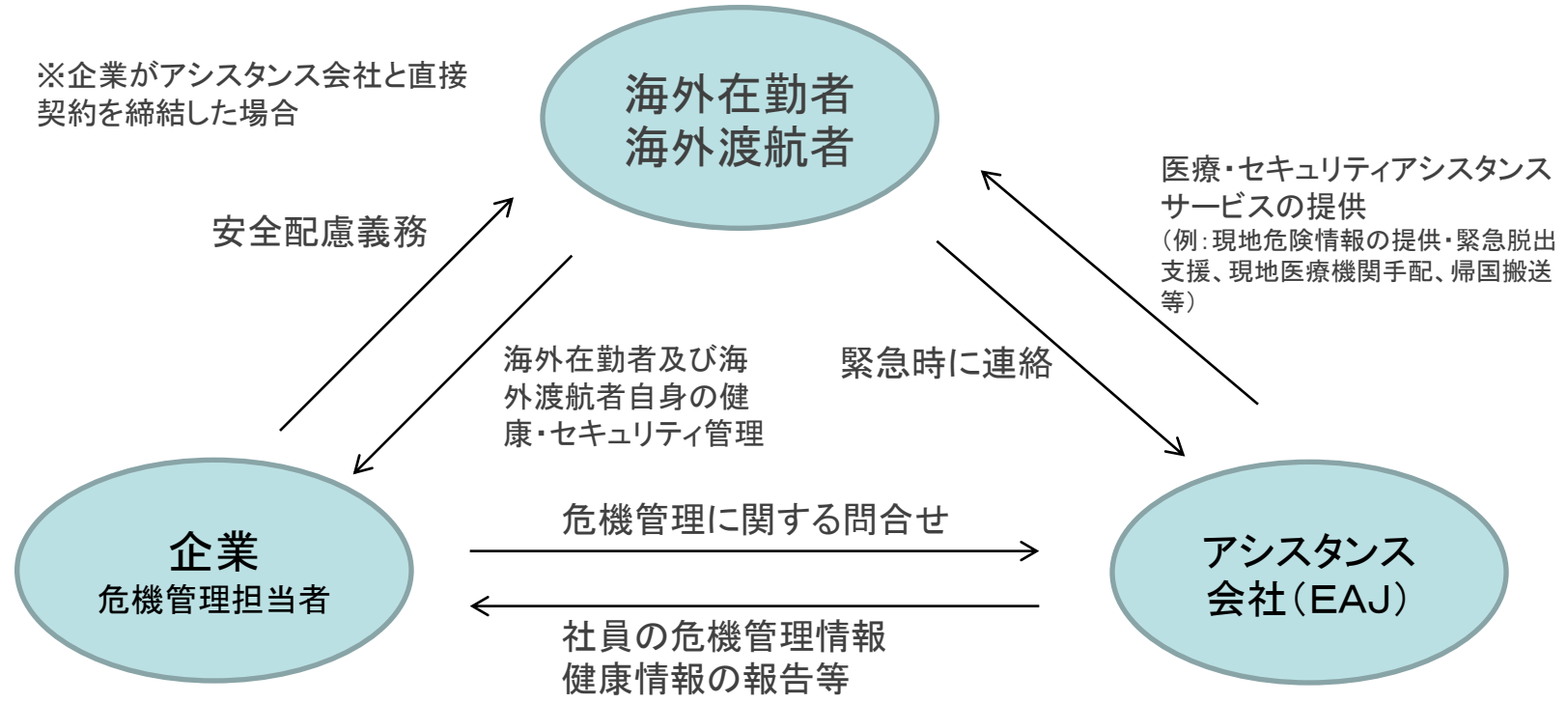
全世界対応  
医療  
アシスタンス

全世界対応  
セキュリティ  
アシスタンス

全世界対応  
トータル  
リスク管理

# 海外リスクに対しアシスタンス会社を利用することのメリット

- 企業は海外在勤者及び海外渡航者に対して安全配慮義務を負うが、アシスタンス会社から医療やセキュリティに関する専門的なサービスを受けることでリスクヘッジ、コスト節減が可能となる。
- アシスタンス会社は海外在勤者及び海外渡航者にアシスタンスサービスを提供し、本社の危機管理担当者に情報を提供することでクライアントに安全・安心を提供する。



# 当社が法人・大学に提供するサービス

## 海外24時間医療アシスタンスサービス

- ◆ 海外における現地病院の紹介・予約
- ◆ 電話による医療通訳サービス
- ◆ 入院費・治療費の支払保証・支払代行
- ◆ 治療状況のモニタリング・セカンドオピニオンの提供
- ◆ 通訳の派遣
- ◆ 緊急医療搬送(近隣医療先進国・日本への搬送)

## 海外医療コンサルティングサービス

- ◆ 事業進出拠点の保健衛生状況調査
- ◆ 信頼できる医療機関調査
- ◆ 万が一の場合の緊急対応計画とその必要経費などの事前調査

## セキュリティサービス

- ◆ 24時間365日アクセスできるセキュリティ・ホット・ライン
- ◆ セキュリティ上の注意喚起及び警告のメール配信(全世界対象)
- ◆ セキュリティ・プロフェッショナルによる電話アドバイス
- ◆ 現地セキュリティ・プロフェッショナルの動員によるアシスタンス・サービス  
現地の治安状況が悪化した際、最寄りの安全適地への緊急国外避難支援

### ■【今週のトピックス】■

◎ リベリアでエボラ出血熱が再発  
リベリアでは5月9日にエボラ出血熱の終息が宣言されましたが、7月5日までの1週間に新たに3名の確定患者が報告され、うち1名は6月28日に死亡したことが明らかになりました。世界保健機関(WHO)が7月8日に発表した感染状況報告は次のように述べています。

リベリアでは5月9日のエボラ出血熱終息宣言以降、保健機関が3か月間の経過観測期間を設け、エボラ出血熱疑い感染者から血液検体及び口腔組織検体を毎日採取し、検査を継続してきた。6月29日の検査において、6月21日に発症し6月28日に死亡した17歳の患者の採取検体からエボラ出血熱が確認された。

また死亡した17歳の患者と濃厚接触していた2人もエボラ出血熱に陽性を示したことが確認され、現在首都モンロビアのエボラ治療センターで治療を受けている。他にもエボラ出血熱に

### セキュリティ関連情報例

**緊急移送プラン 2**

【定期便で移送不能 / グラムで治療できない場合】

【飛行時間と費用】 二名の医療者費用込み

グラムから手配の場合 :	チャーターフライトはグラム又は香港のチャーターフライト会社に依頼し最も早く手配できる機材を調達。
Pohpei => Tokyo / 6.5H / 70,000 - 78,000 USD	バンベイ => 東京 : 約3,700K (黄色)
Pohpei => (Guam) => Manila / 6.5H / 64,000 - 71,000 USD	バンベイ => グラム : 約1,640K (赤色)
Pohpei => (Guam) => HK / 7.5H / 80,000 - 87,000 USD	グラム => 香港 : 約3,380K (緑色)
	グラム => マニラ : 約2,560K (白色)

香港から手配の場合 :

Pohpei => (Guam) => Tokyo / 7.0H / 93,000 - 98,000 USD

その他ルート確認中

【受入先病院候補】

日本 : 東京聖路加国際し希望病院と交渉

マニラ : Makati Medical Centre 所在地 : 2 Amorsolo cor. Dela Rosa St. Makati City, Metro Manila 連絡先 +63-2-888-8999

香港 : Hong Kong Adventist Hospital (香港聖安医院) 所在地 : 40 Shatin Road, Hong Kong 香港司徒拔道40号 連絡先 +852-2574-6211

### 緊急医療対応計画のシミュレーション例

# アシスタンスで世界を広げる

本説明資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらの不確実性には、業界ならびに市場の状況、金利、為替変動、国内外の事業に影響を与える政府の法規制といった国内及び国際的な経済状況などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

また、当資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定はご自身の判断において行われるようお願いいたします。

Copyright ©Emergency Assistance Japan Co., Ltd. All Rights Reserved.

日本エマージェンシーアシスタンス株式会社